

令和4年度

農政部施策概要

令和4年5月

山梨県農政部

【 目 次 】

はじめに	1
1 成長産業化に向けた担い手の確保・育成	2
(1) 新規就農者や参入企業の確保・育成	2
① 就農促進体制の強化	
② 就農定着に向けた仕組みづくり	
③ 就農希望者を増やすための普及啓発の推進	
(2) 中心経営体の育成と農地集積等	3
① 中心経営体の育成	
② 中心経営体への農地の集積等の促進	
(3) 地域を支える多様な担い手の確保・育成	5
① シニア世代等の就農促進	
② 障害者の農業分野での就労促進	
③ 若手女性リーダーの育成	
④ 地域の農業を支える農業者組織等の育成	
2 農業生産の効率化、農産物の高品質化	7
(1) スマート農業の推進	7
① 農業におけるビッグデータの蓄積・活用	
② IoT、ICT等の先端技術を活用した農業の普及促進	
(2) 環境にやさしい農業の推進	7
① 有機農業の推進	
② 環境に配慮した農業の推進	
③ 再生可能エネルギーを活用した農業の普及促進等	
(3) 異常気象への対応	9
① 地球温暖化に適應した品目・品種、栽培技術の開発・普及	
② 農業保険制度への加入促進	
(4) 支援体制の強化	9
① 試験研究機関の機能強化	
② 地域普及センターとJAの営農指導員との連携強化	
③ 農作業安全対策の推進	

3 品目別の生産振興策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

(1) 果樹・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

- ① 優良品種の開発・普及
- ② 高品質化、省力化・低コスト化に向けた技術の開発・普及
- ③ やまなしブランド果実の生産拡大、出荷体制の強化
- ④ ワイナリーの需要に対応した醸造用ぶどうの生産拡大

(2) 野菜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

- ① 主要野菜産地の強化
- ② 高品質化、省力化・低コスト化技術等の開発・普及
- ③ 地域特性を生かした特産野菜の生産・販路の拡大

(3) 水稻等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

- ① 所得の安定に向けた技術の実証・普及等
- ② 水田のフル活用の推進
- ③ 原料用酒米の産地化の推進
- ④ 米穀の需給調整の推進

(4) 花き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

- ① オリジナル花きの開発・育成・生産の拡大
- ② 高品質化、省力化・低コスト化に向けた技術の開発・普及
- ③ 県産花きのPRと販路拡大

(5) 畜産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

- ① 食肉のブランド力の強化と畜産農家の経営安定
- ② ブランド化・高付加価値化・低コスト化等に向けた技術の開発・普及
- ③ 次世代型畜産の推進
- ④ 家畜等の疾病対策と防疫体制の強化

(6) 水産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

- ① 養殖技術の開発と種苗の供給、遊漁の推進
- ② ブランド魚の養殖技術の確立・普及と販路拡大
- ③ 新規参入養殖業者等への支援

(7) 地域特産物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

- ① 茶の高品質化、販露の拡大
- ② シビエ等の活用の推進
- ③ 新たな特産品目の導入と産地化

4	販売につながるプロモーション等の展開	20
	（1）海外への販路拡大と販売促進	20
	① 新たな輸出先国の開拓	
	② 輸出促進に向けた新たな体制づくりと効果的なプロモーション活動の実施	
	（2）国内における販売促進	20
	① 県産農産物等のブランド力の強化	
	② 県産農産物の更なる販売促進	
	（3）安全で安心な農産物の生産・供給	21
	① やまなしGAP等やHACCP認証取得の促進	
	② 農薬等の適正使用の推進	
	③ 農産加工品の製造工程管理の徹底	
5	地域の農産物の利用促進	23
	（1）地域資源を活用した6次産業化の促進	23
	① 6次産業化支援体制の強化	
	② 県産農産物を活用した新たな加工品開発と促進と販売支援	
	（2）地産地消・地産訪消の促進に向けた販売集客拠点の整備等への支援	23
	① 県産農産物の消費拡大と新たなニーズに対応した品目の生産支援	
	② 農産物直売所等の施設整備への支援	
6	地域資源を活用した農山村の活性化	24
	（1）他分野と連携した農山村の活性化	24
	① 地域資源を活用した都市農村交流の推進	
	② 農福連携の推進	
	（2）農地及び農村景観の保全	24
	① 農業・農村の多面的機能の保全	
	② 環境との調和に配慮した基盤整備等の推進	
	③ 世界農業遺産の認定と保全・活用	
	（3）鳥獣被害対策の推進	25
	① 野生鳥獣被害対策の推進	
	② 水産資源の被害防止と保全対策の推進	

7	力強い農業を支える基盤整備	27
(1)	成長産業化に向けた基盤整備	27
①	中心経営体等への農地集約や果樹産地等の基盤整備	
②	企業の農業参入に向けた基盤整備	
(2)	災害に強い基盤整備	29
①	防災・減災に向けた農業用水利施設等の整備	
②	農業用施設の耐震化・長寿命化の推進	
(3)	効果的な荒廃農地対策の推進	31
①	荒廃農地の発生防止対策の推進	
②	荒廃農地の再生の推進	
③	再生農地の活用の促進	

付表 補助対象別主要事業一覧

はじめに

本施策概要は、農業者をはじめ県民の皆様が令和元年12月に策定し、令和3年9月に改定した「やまなし農業基本計画」に基づいて本年度農政部が取り組む主な事業等について知っていただき、活用していただくためにとりまとめた資料です。

<やまなし農業基本計画>

新たな県政運営の基本指針となる「山梨県総合計画」の部門計画であり、本県農業の目指すべき中長期的な構想と令和元年度から4年間に実施する施策・事業の内容、行程などのアクションプランを示す本県農業振興の指針となる計画です。詳細は、「やまなし農業基本計画」を御覧ください。

掲載サイト：https://www.pref.yamanashi.jp/nousei-som/r1_kihonkeikaku.html

○計画期間 令和元年度～令和4年度（4年間）

○目 標 「生産者の所得の向上」を実現するため、「稼ぐ力を最大限発揮できる環境整備」と「豊かで活気ある農山村の創造」の2つの目標を掲げ、次の7つの柱に分類した施策に関係機関と一体となって取り組む

I 稼ぐ力を最大限発揮できる環境整備

- 1 成長産業化に向けた担い手の確保・育成
- 2 農業生産の効率化、農産物の高品質化
- 3 品目別の生産振興策
- 4 販売につながるプロモーション等の展開
- 5 地域の農産物の利用促進

II 豊かで活気ある農山村の創造

- 6 地域資源を活用した農山村の活性化
- 7 力強い農業を支える基盤整備

○重点施策 ①多様な担い手の確保・育成

②スマート農業の導入による効率化、高品質化の推進

③海外市場でのプロモーション活動の展開

1 成長産業化に向けた担い手の確保・育成

(1) 新規就農者や参入企業の確保・育成

① 就農促進体制の強化

- (当初)「やまなし就農魅力発信事業費」 (担い手・農地対策課 4,050千円)
内容：本県への就農希望者を確保するため、農業総合情報サイトへの特集ページの掲載や座談会の開催等の本県で就農する魅力を発信する取り組みを行う。
- (当初)「就農支援センター事業費」 (担い手・農地対策課 7,890千円)
内容：意欲ある新規就農者を確保するため、就農支援センターを設置し、就農支援マネージャーによる就農相談活動を実施するなど、就農支援体制の整備を図る。
- (当初)「農林大学校費」 (農業技術課 71,254千円)
内容：農林大学校において農業後継者の教育や新規参入希望者への研修を行う。
- (当初)「企業的農業展開支援対策事業費」 (担い手・農地対策課 5,391千円)
内容：効率的な農業経営が可能となる経営体を育成するため、企業の農業参入等を促進する。
 - ・「企業的農業推進事業費」 (950千円)
内容：企業訪問やセミナーの開催等を行う。
 - ・「農業経営承継支援事業費」 (4,441千円)
内容：セミナーの開催や法人設立費用の助成、コーディネーター・専門家の派遣等を行う。

② 就農定着に向けた仕組みづくり

- (当初)新「新規就農者育成総合対策事業費」 (担い手・農地対策課 421,039千円)
内容：新規就農者の育成と定着を図るため、就農前の研修や就農直後の経営を支援する資金の交付、経営発展のための機械、施設等の導入を支援する。
 - ・「就農準備資金交付事業費」 (35,250千円)
対象者 就農前研修者(就農時50歳未満の者等)
交付額 年額1,500,000円
 - ・「経営開始資金交付事業費」 (176,250千円)
交付先 市町村
対象者 認定新規就農者(就農時50歳未満の独立・自営就農者等)
交付額 年額1,500,000円
 - ・「経営発展支援事業費補助金」 (206,250千円)
対象者 認定新規就農者(就農時50歳未満の独立・自営就農者等)
内容 機械・施設の導入 果樹改植機械リース等
補助率 3/4(国2/4、県1/4)
 - ・「推進事業費」 (3,289千円)
内容 研修会の開催等
- (当初)「農業科委託訓練費」 (農業技術課(産業人材育成課) 23,863千円)
内容：雇用就農希望者の農作物の栽培技術や農業経営に関する知識の習得を図るため、県農林大学校において職業訓練を実施する。
- (当初)「やまなしあぐりゼミナール事業費補助金」 (担い手・農地対策課 11,589千円)
内容：新規就農者を確保するため、就農に必要な基礎的な技術や知識が不足する者を対象とした研修事業に対し助成する。

補助先 (公財) 県農業振興公社
補助率 10/10 (国 5/10 県 5/10)

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部)
内容：農家を対象とした農業改良普及指導活動を行う。

- (当初)「親元就農者経営安定支援事業費補助金」

(担い手・農地対策課 29,000千円)

内容：農家の技術や経営資源を確実に引き継ぐことができる親元就農の確保・育成及び定着を支援する。

補助先 市町村

要件 就農時50歳未満、前年度所得600万円以下(本人及び配偶者の合計)等の全ての要件を満たす者

補助率 1/2(県単)

③ 就農希望者を増やすための普及啓発の推進

- (当初)「中山間ふるさと・水と土保全対策事業費」 (耕地課 12,801千円)

内容：中山間地域の集落機能の強化を図るため、地域活動を推進する人材の育成や施設・農地の利活用及び保全整備等の促進に対する支援を実施する。

- (当初)「高校生めぐり体験事業費」 (農業技術課 197千円)

内容：将来の担い手になりうる高校生を対象に、農林大学校での座学や農業体験等をしてもらい、農林大学校への入学と新規就農への促進を図る。

- (当初)新「やまなし食農菜園教育モデル実践事業費」

(農政総務課 2,881千円)

内容：本県の特徴ある農業への関心を醸成し、将来の担い手を育成するため、モデル校において農業体験を通じて食と農への理解を深める「食農菜園教育」実施する。

- (当初)「農林大学校費」 (農業技術課 71,254千円) P2再掲

- (当初)「就農トレーニング塾設置事業費」 (農業技術課 1,549千円)

内容：本県に就農を希望する新規就農者に対し、実践的な農業体験ができる短期研修を行う。

- (当初)「ワーケーション利用者農作業体験メニュー開発支援事業費補助金」

(担い手・農地対策課 1,600千円)

内容：本県農業の多様な担い手を確保するため、企業等団体向けの農業体験メニューの開発に対し助成する。

補助先 市町村

補助率 10/10 (国 5/10 県 5/10)

補助額 1市町村当たり800,000円

(2) 中心経営体の育成と農地集積等

① 中心経営体の育成

- (当初)「企業的農業展開支援対策事業費」 (担い手・農地対策課 5,391千円) P2再掲

- (当初)「農業用機械・施設整備事業費補助金」 (担い手・農地対策課 4,800千円)

内容：人・農地プランに位置づけられた経営体等の定着を図るため、生産の効率化や経営の

高度化に必要な機械・施設整備等の初期投資を軽減する取り組みを支援する。

補助先 市町村
内 容 農業用機械の購入、農業用施設の整備
補助率 3/10

●(当初)「果樹王国やまなし就農支援事業費補助金」

(担い手・農地対策課 10,000千円)

内容：親元就農した農家子弟の規模拡大又は新規参入者が就農する際に必要な機械等の整備に対し助成する。

補助先 市町村
内 容 農業用機械のリース等
補助率 2/9 (県単)

② 中心経営体への農地の集積等の促進

●(当初)「農業委員会指導費」 (担い手・農地対策課 153,945千円)

内容：市町村農業委員会や県農業委員会ネットワーク機構の運営や事業に対し助成する。

・「農業委員会交付金」 (56,588千円)

内容：市町村農業委員会の運営に要する経費に対し助成する。

交付先 市町村
交付率 定額

・「農業委員会ネットワーク機構補助金」 (24,291千円)

内容：県農業会議が県農業委員会ネットワーク機構として行う市町村農業委員の資質向上のための事務等に対し助成する。

補助先 県農業委員会ネットワーク機構
補助率 定額

・「農地中間管理機構集積支援事業交付金(農業委員会)」 (20,746千円)

内容：市町村農業委員会が行う農地の利用状況調査や荒廃農地所有者との相談活動等、農地集積に向けた活動に対し助成する。

交付先 市町村
交付率 定額

・「農地中間管理機構集積支援事業交付金(農業委員会ネットワーク機構)」

(9,178千円)

内容：市町村農業委員等への研修や農地相談員の配置等、市町村農業委員会を支援する活動に対し助成する。

交付先 県農業委員会ネットワーク機構
交付率 定額

・「農地利用最適化交付金」 (43,142千円)

内容：市町村農業委員等が行う新規参入者への農地のあっせんや遊休農地の所有者との相談活動等、農地利用の最適化に向けた活動に対し助成する。

交付先 市町村
交付率 定額

●(当初)「農地中間管理事業費」 (担い手・農地対策課 82,917千円)

内容：農業者等から農地を借り受け、地域の中心となる経営体等へ貸し付ける取り組みを推進する。

・「農地中間管理機構事業推進費補助金」 (73,870千円)

補助先 県農地中間管理機構
内 容 農地中間管理機構の運営等
補助率 10/10 (国 7/10 県 3/10)

・「機構借受農地管理事業費補助金」 (6,128千円)

補助先 県農地中間管理機構

- 内 容 農地中間管理機構の保有する中間保有農地の管理等
 補助率 10/10 (国7/10 県3/10)
 ・「農地中間管理事務費等」 (2,919千円)

- (当初)「**機構集積協力金交付事業費補助金**」 (担い手・農地対策課 23,790千円)
 内容：中心経営体等への農地集積を図るため、機構へ農地を貸し付ける地域、農業者等に対して地域集積協力金等を支払う市町村に対し交付する。
 補助先 市町村
 補助率 定額

(3) 地域を支える多様な担い手の確保・育成

① シニア世代等の就農促進

- (当初)「**シニア世代就農促進事業費補助金**」 (担い手・農地対策課 3,103千円)
 内容：新規就農者を確保するため、県内外のシニア世代を対象とした農業技術研修等の取り組みに対し助成する。
 補助先 (公財) 県農業振興公社
 補助率 10/10 (県単)

- (当初)「**農林大学校費**」 (農業技術課 71,254千円) P2再掲

- (当初)「**普及活動費**」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲

② 障害者の農業分野での就労促進

- (当初)「**次世代型農福連携パワーアップ事業費**」 (農村振興課(障害福祉課) 20,550千円)
 内容：障害者の経済的自立を支援するため、障害者の農業分野への就労を促進する取り組みを行う。
 - ・「**農福連携マッチング事業費**」 (7,620千円)
 内容：県農福連携推進センターを設置し、農業経営者と障害者就労施設等のマッチングを行う。
 - ・「**農福連携商品ブランド化支援事業費**」 (10,930千円)
 - 新 農福連携フェアの開催
 - 新 農福連携商品自動販売機の設置
 - 新 PR動画の作成等
 - ・「**農福連携新規参入・立ち上げ支援事業費**」 (2,000千円)
 補助先 社会福祉法人等
 補助率 定額(県単)

③ 若手女性リーダーの育成

- (当初)「**農村女性活動推進支援事業費**」 (農業技術課 4,457千円)
 内容：農業・農村の活性化を図るため、地域農業の指導的役割を担う女性リーダーを育成する。
 - ・新「**地域における女性農業者活躍推進事業費**」 (3,096千円)
 内容：地域農業の中核となる女性農業者の育成や働きやすい環境を整備するため、セミナーの開催等を行う。
 - ・「**農村女性活動推進支援事務費**」 (1,361千円)

④ 地域の農業を支える農業者組織等の育成

- (当初)「農村青少年組織育成事業費」 (農業技術課 332千円)

内容: 県青年農業士及び県指導農業士を認定するとともに、認定後の自主的組織活動を支援する。

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲

2 農業生産の効率化、農産物の高品質化

(1)スマート農業の推進

① 農業におけるビッグデータの蓄積・活用

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121, 698千円のうちの一部) P3再掲
- (当初)新「データセンシングを活用したキュウリ養液栽培における増収技術の確立試験費」 (農業技術課 2, 374千円)
内容：高軒高ハウスにおいてデータセンシングの活用により高度環境制御し、施設キュウリの飛躍的な生産性向上技術を確立する。
- (当初)新「データを活用した「シャインマスカット」の多収・高品質安定生産技術の確立試験費」 (農業技術課 2, 500千円)
内容：ICT 機器を活用して栽培環境条件や樹体生育をセンシングし、加温栽培における安定生産技術と露地栽培における高品質を維持した多収技術を確立する。
- (当初)「データ農業推進事業費」 (農業技術課 11, 104千円)
内容：アフターコロナを見越した県内農家の収益力向上につなげるため、育成状況・環境や栽培技術をデータ解析により可視化し、高品質で多収性のある技術を開発、普及する。

② IoT、ICT等の先端技術を活用した農業の普及促進

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121, 698千円のうちの一部) P3再掲
- (当初)「やまなしスマート農業実装事業費補助金」 (農業技術課 6, 000千円)
内容：省力化・低コスト化・高品質化による生産性の向上を図るため、意欲ある農業者等が生産現場で行う先進技術の実証に対し助成する。
補助先 農業者等
補助率 1/2 (県単)
- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40, 000千円)
内容：本県農業の更なる発展のため、スマート農業や環境に配慮した農業等の取り組みに対し助成する。
補助先 市町村
内容 CO2削減、気候変動への対応、スマート農業の導入等
補助率 1/2 (県単)
- (2補)「やまなしスマート農業推進事業費」 (農業技術課 526千円)
内容：スマート農業技術、データ農業技術、環境負荷の低減や省力化に資する技術の農業現場への普及を促進し、産地の課題解決のための新たな営農技術体系を構築しようとする協議会に対し助成する。
補助先 やまなしグリーンな野菜推進協議会(仮称)
内容 協議会費、先進地視察、スマート農業技術実証等
補助率 10/10 (国補)

(2)環境にやさしい農業の推進

① 有機農業の推進

- (当初)「有機質資材による持続可能な農業技術の確立試験費」 (農業技術課 1, 998千円)

内容：不明確な点が多い有機質資材の特性について栽培実証により数値化し、農家が選択しやすい環境を整備する。

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲
- (当初)「環境にやさしい農業推進事業費」 (農業技術課 3,080千円)
内容：環境への負荷低減や生物多様性の保全を図るため、「環境保全型農業」や「有機農業」を定着させる取り組みを推進する。
- (2補)「やまなし有機農業産地づくり推進事業費」 (農業技術課 10,000千円)
内容：国の「みどりの食料システム戦略」に基づき、有機農業のモデル的先進地区を創出するため、地域ぐるみで有機農業に取り組む市町村の取組に対し支援する。
補助先 市町村
補助率 10/10 (国補)

② 環境に配慮した農業の推進

- (当初)「環境保全型農業直接支払補助金」 (農業技術課 19,722千円)
内容：化学肥料・化学合成農薬の低減を推進するため、農業者等が行う低減栽培の取り組みを支援する。
補助先 市町村
補助率 3/4 (国 2/4 県 1/4)
- (当初)「環境にやさしい農業推進事業費」 (農業技術課 3,080千円) P8再掲
- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲
- (当初)「畜産環境総合対策事業費」 (畜産課 537千円)
内容：畜産経営に起因する環境問題を解消するとともに、地域社会と調和の取れた環境対策を推進する。
- (当初)「栽培等試験費」 (農業技術課 13,287千円のうち一部)
内容：ブドウやモモなどの剪定枝由来のバイオ炭を用いた土壌炭素貯留によるCO₂削減効果を検証する。
- (当初)「本県の野菜栽培における生分解マルチの適用性検証試験費」
(農業技術課 1,415千円)
内容：強度を高めた生分解性マルチについて、耐久性やすき込み後の分解速度、野菜の生育・収量への影響を調査するとともに、生分解性マルチを分解する酵素剤の分解促進性や作物への影響を評価する。
- (当初)「農業用廃プラスチック処理対策費負担金」
(果樹・6次産業振興課 1,486千円)
内容：農業生産現場から排出される農業用廃プラスチックの適正な処理を推進するため、(公社)山梨県農業用廃プラスチック処理センターの運営費の一部を負担する。
- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円) P7再掲
- (2補)「4パーミル・イニシアチブ普及促進事業費」 (農業技術課 2,992千円)
内容：果樹園で発生する剪定枝を炭にして土に貯留するなど、大気中の二酸化炭素の量を削減する「4パーミル・イニシアチブ」の取り組みを普及啓発する。

- (2補)「生分解性マルチ普及促進事業費」 (農業技術課 1,094千円)
内容：生分解性マルチの普及を加速するために、生分解性マルチの適応性、マルチ内局所施肥による化学肥料の削減効果や亜酸化窒素発生量に及ぼす影響について検証する。

③ 再生可能エネルギーを活用した農業の普及促進等

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲

(3) 異常気象への対応

① 地球温暖化に適応した品目・品種、栽培技術の開発・普及

- (当初)「土壌管理等による果実安定生産技術の確立試験費」 (農業技術課 906千円)
内容：土壌環境の実態を把握することにより生理障害の発生要因を明らかにし、土壌環境の実態を把握し、安定生産技術を確立する。
- (当初)「一般試験費」 (農業技術課 20,740千円のうち一部) P9再掲
内容：種なしで食べやすく大粒かつ着色良好なブドウのオリジナル品種を開発する。
- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲
- (当初)「暑熱時における卵重増加のための栄養調整技術の開発試験費」
(畜産課 1,250千円)
内容：暑熱時の産卵低下や卵殻強度の悪化を防ぐとともに卵重を増加させるための飼料調整技術を開発する。
- (当初)「プロイラーにおける暑熱時の生産性低下防止技術の開発試験費」
(畜産課 2,314千円)
内容：暑熱時の生産性改善に効果のある有機酸及びアミノ酸や炭酸ファインバブル水を利用したプロイラーの暑熱対策技術を開発する。
- (当初)「大家畜試験費」 (畜産課 5,729千円の一部)
内容：県内で利用可能な暖地型牧草の検索と生産性調査、利用方法を検討し、温暖化の進行にも対応可能な牧草生産技術を開発する。
- (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」 (畜産課 11,766千円)
内容：畜産経営の安定を図るため、専門家による経営・生産技術の指導や、情報提供を行う。
- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円) P7再掲

② 農業保険制度への加入促進

- (当初)「組合等指導費」 (農政総務課 470千円)
内容：農業保険制度の適正かつ円滑な事業運営を図るため、調査の実施及び農業共済団体に對する指導を行う。

(4) 支援体制の強化

① 試験研究機関の機能強化

- (当初)臨「総合農業技術センター再整備事業費」 (農業技術課 676,570千円)

内容：老朽化した施設の耐震化と ICT やビッグデータの活用など新たな試験研究機能の強化を図るため、総合農業技術センターの建て替えを行う。

② 地域普及センターとJAの営農指導員との連携強化

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲

③ 農作業安全対策の推進

- (当初)「農業啓発推進事業費」 (農業技術課 1,318千円)

内容：農作業事故の未然防止を強化する農作業研修会等の農業啓発活動を推進する。

- (当初)「GAP 推進事業費」 (農業技術課 1,879千円)

内容：安全・安心な農産物を生産し、産地競争力の強化を図るため、GAP の普及に向けた取り組みを行う。

3 品目別の生産振興策

(1) 果樹

① 優良品種の開発・普及

- (当初)「一般試験費」 (農業技術課 20,740千円のうち一部)
内容：生食用及び醸造用ブドウ、モモ、スモモ、オウトウのオリジナル品種等を育成する。
 - (当初)「ブドウの早期育成に向けた育種手法の確立試験費」 (農業技術課 2,341千円)
内容：幼苗時の着色遺伝子診断と接ぎ木技術を活用した早期結実による「新たな選抜システム」を確立し、ブドウ新品種の早期育成を図る。
 - (当初)「赤系ブドウ早期産地化推進事業費」 (果樹・6次産業振興課 5,306千円)
内容：シャインマスカットの特性を引き継ぐ県オリジナル品種のぶどう「甲斐ベリー7」の早期産地化を図るため、苗木の生産体制を拡大する。
 - (当初)「職務発明推進費」 (農業技術課 925千円)
内容：職務発明に係る種苗登録料及び特許料等を支払い、知的財産権を保護する。
 - (当初)「県産ブランド果実海外品種登録推進事業費」 (農業技術課 12,114千円)
内容：県オリジナル品種の海外への流出を防止し、本県ブランド果実の保護を図るため、中国・韓国での品種登録等を行う。
 - (当初)「県オリジナル品種産地確立事業費補助金」
(果樹・6次産業振興課 1,401千円)
内容：オリジナル品種の産地確立を図るため、その普及とブランド化に向けた取り組みに対し助成する。
補助先 県オリジナル品種ブランド化推進会議
補助率 1/2 (県単)
 - (当初)「民間育種選抜支援事業費補助金」 (果樹・6次産業振興課 500千円)
内容：民間で育種選抜された優良系統の品種登録を支援する。
補助先 (公社)山梨県果樹園芸会
補助率 1/2 (県単)
 - (当初)「ぶどうウイルスフリー苗供給対策事業費」
(果樹・6次産業振興課 6,078千円)
内容：ぶどうの高品質化に向けて、原母樹園の管理やウイルス検定等を行う。
- ##### ② 高品質化、省力化・低コスト化に向けた技術の開発・普及
- (当初)新「データを活用した「シャインマスカット」の多収・高品質安定生産技術の確立試験費」 (農業技術課 2,500千円) P7再掲
 - (当初)「土壌管理等による果実生産安定技術の確立試験費」
(農業技術課 906千円) P9再掲
 - (当初)「ブドウ園土壌における可給態窒素診断基準の作成試験費」
(農業技術課 2,005千円)
内容：適量施肥によりコスト低減、環境負荷低減を図るため、ブドウ園における土壌中の可給態窒素量、樹体生育、果樹品質等を調査し、土壌の種類別に可給態窒素量の診断基

準を作成する。

●(当初)「新たな肉質のモモ「夢桃香」の特性を活かした省力栽培技術の確立試験費」

(農業技術課 2, 265千円)

内容：夢桃香の省力収穫技術を開発し、省力化・高付加価値化技術の適応性を検証するとともに、省力収穫技術に適した新たな仕立て方法の確立に向け、幼木期の検討を行う。

●(当初)「普及活動費」 (農業技術課 121, 698千円のうちの一部) P3再掲

●(当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40, 000千円) P7再掲

③ やまなしブランド果実の生産拡大、出荷体制の強化

●(当初)「県オリジナル品種産地確立事業費補助金」

(果樹・6次産業振興課 1, 401千円) P11再掲

●(当初)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」

(果樹・6次産業振興課 150, 000千円)

内容：農産物の産地競争力の強化を図るため、高収益化や低コスト化に向けた取り組みに対し助成する。

補助先	市町村
実施主体	農業者等
内容	生産資材及びリース方式による農業機械の導入等
補助率	1/2

●(当初)「すもも産地競争力強化支援事業費補助金」

(果樹・6次産業振興課 89, 000千円)

内容：米国産にほんすももの輸入解禁に伴い、県内すもも農家の生産体制を強化する。

・「優良品種改植促進事業費補助金」 (19, 500千円)

補助先	市町村
実施主体	農業者等
内容	優良品種への改植
補助率	定額(国1/2、県1/2)

・「安定生産支援事業費補助金」 (69, 500千円)

補助先	市町村
実施主体	農業者等
内容	雨よけ施設の整備、結実安定機器、重量選別機器の購入
補助率	2/4(国1/4、県1/4)

●(当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40, 000千円) P7再掲

④ ワイナリーの需要に対応した醸造用ぶどうの生産拡大

●(当初)「ワイン産地確立推進事業費」 (果樹・6次産業振興課 12, 367千円)

内容：世界に通用するワイン産地の確立を図るため、醸造用ぶどうの高品質化と生産拡大を図る。

・「優良系統選抜・供給事業費」 (1, 470千円)

内容：本県の気候にあう高品質な醸造用ぶどうの特性を把握し選抜を行う。

・「栽培技術確立事業費」 (4, 134千円)

内容：原料ぶどうの品質向上のため省力的な安定生産技術を確立する。

・「早期成園化・省力化技術開発費」 (1, 613千円)

内容：果樹試験場明野ほ場において、早期成園化と省力化の技術開発を行う。

・「醸造用甲州ぶどう産地育成強化事業費補助金」 (5, 150千円)

補助先	醸造用ぶどう安定取引推進会議
補助率	定額(県単)

- (当初)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」
(果樹・6次産業振興課 150,000千円) P12再掲
- (当初)「県奨励品種等種苗供給対策事業費補助金」
(果樹・6次産業振興課 3,830千円)
内容：果樹産地の維持・拡大を図るため、民間による供給が不十分な種苗を生産する取り組みに対し助成する。
対象品種 醸造用甲州ぶどう
補助先 (公財) 県農業振興公社
補助率 10/10 (県単)

(2)野菜

① 主要野菜産地の強化

- (当初)「野菜指定産地等振興費」 (果樹・6次産業振興課 1,144千円)
内容：野菜共進会における表彰により、生産者の意欲の向上を図るとともに、優良事例の普及を図る。
- (当初)「野菜生産出荷安定対策費」 (果樹・6次産業振興課 17,694千円)
内容：野菜生産出荷安定法等に基づき価格差補給金を交付するための資金を造成する。
 - ・「野菜生産出荷安定資金造成事業費補助金」 (14,857千円)
補助先 (公社) 県青果物経営安定基金協会
補助率 10/10 (県単)
 - ・「野菜価格安定事業費補助金」 (2,837千円)
補助先 (公社) 県青果物経営安定基金協会
補助率 1/3、1/4、2/3 (県単)

② 高品質化、省力化・低コスト化技術等の開発・普及

- (当初)「栽培等試験費」 (農業技術課 13,287千円のうち一部)
内容：簡易雨よけ資材を用いた夏秋パブリカの露地栽培技術を確立するため、栽培方法と品種を検討する。
- (当初)「夏秋トマトの簡易雨除け栽培における裂果抑制技術の確立試験費」
(農業技術課 1,625千円)
内容：生産現場で問題となっている夏秋トマトの裂果を抑制し、秀品の収量を向上させる技術を確立する。
- (当初)「根深ネギの安定的な周年出荷技術の確立試験費」 (農業技術課 2,350千円)
内容：県産ネギの周年生産を行うための秋冬どり、春どり、初夏どり、夏どりの各作型に適した品種選定や品質向上対策技術を明らかにする。
- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲
- (当初)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」
(果樹・6次産業振興課 150,000千円) P12再掲
- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円) P7再掲

③ 地域特性を生かした特産野菜の生産・販路の拡大

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲

- (当初)「新品目チャレンジ栽培実証事業費」 (果樹・6次産業振興課 1,600千円)
内容：農業者の所得向上を図るため、意欲ある生産者と協働して産地化や有利販売が期待できる新たな品目の実証栽培を行う。

(3)水稲等

① 所得の安定に向けた技術の実証・普及等

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲
- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円) P7再掲
- (当初)「主要農作物等試験費」 (農業技術課 3,848千円のうち一部)
内容：普通作物の本県に適応性の高い優良品種の選定と原種を生産する。

② 水田のフル活用の推進

- (当初)「経営所得安定対策推進事業費補助金」 (食糧花き水産課 47,260千円)
内容：農業者等に対する経営所得安定対策制度の周知や加入促進を図るとともに、作付確認等に必要な経費について助成する。
補助先 山梨県水田畑作農業再生協議会、市町村
補助率 10/10 (国補)
- (当初)「活力ある水田農業支援事業費補助金」 (食糧花き水産課 45,000千円)
内容：各産地が実施する転作作物、加工用米等の栽培等の取り組みに対し助成する。
補助先 市町村
補助率 1/2、2/5 (県単)

- (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」 (畜産課 11,766千円) P9再掲

③ 原料用酒米の産地化の推進

- (当初)「活力ある水田農業支援事業費補助金」
(食糧花き水産課 45,000千円) P14再掲
- (当初)「主要農作物等試験費」 (農業技術課 3,848千円のうちの一部) P14再掲

④ 米穀の需給調整の推進

- (当初)「経営所得安定対策推進事業費補助金」
(食糧花き水産課 47,260千円) P14再掲
- (当初)「水田情報活用地域支援事業費補助金」 (食糧花き水産課 1,829千円)
内容：米の需給調整のため、農業者データや水田面積等の把握に必要な水田情報システムの運用管理等に対し助成する。
補助先 県農業協同組合中央会
補助率 定額 (県単)

(4)花き

① オリジナル花きの開発・育成・生産の拡大

- (当初)「花き振興促進事業費」 (食糧花き水産課 6,940千円)
内容：研修会及び新品种等展示会の開催や優良種苗の生産・供給を行う。

- (当初)「栽培等試験費」 (農業技術課 13,287千円のうち一部) P13再掲
内容：露地栽培に向く切り花用品目について、生花やドライフラワー等の目的に応じた品目、品種選定の一助とするため試作展示を行う。

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲

② 高品質化、省力化・低コスト化に向けた技術の開発・普及

- (当初)「栽培等試験費」 (農業技術課 13,287千円のうち一部) P13再掲

- (当初)「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円) P3再掲

- (当初)「やまなしの花総合振興対策費」 (食糧花き水産課 282千円)
内容：県産花きの需要拡大を図るため、花き品評会等の開催や花き農家の新商品開発の取り組みに対し支援する。

- (当初)「花き振興促進事業費」 (食糧花き水産課 6,940千円) P14再掲

- (当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円) P7再掲

③ 県産花きのPRと販路拡大

- (当初)「やまなしの花総合振興対策費」 (食糧花き水産課 282千円) P15再掲

- (当初)「やまなしの花総合振興対策費」 (販売・輸出支援課 2,565千円)
内容：県産花きの需要拡大を図るため、販路開拓の取り組みに対し支援する。

- (当初)「フラワーセンター管理費」 (食糧花き水産課 2,296千円)
内容：花と親しむ場を提供するフラワーセンターの機能を維持するため、施設の修繕等を行う。

(5) 畜産

① 食肉のブランド力の強化と畜産農家の経営安定

- (当初)「受精卵供給促進事業費」 (畜産課 10,909千円)
内容：高品質牛の生産を促進するため、受精卵移植技術を活用し、牛の受精卵を農家に提供する。

- (当初)「乳用牛改良推進事業費」 (畜産課 19,278千円)
内容：乳用牛の能力の向上を図るため、雌牛の改良や牛群検定を実施する。

- ・「優良乳用供卵牛選抜事業費」 (18,076千円)
- ・「乳用牛群検定普及定着化事業委託料」 (256千円)
委託先 県酪農業協同組合
- ・「乳用牛検定普及推進事業費補助金」 (946千円)
補助先 県乳用牛群検定組合
補助率 422/1000、10/10 (県単)

- (当初)「肉用牛改良推進事業費」 (畜産課 818千円)
内容：県産肉用牛の改良増殖を推進するため、遺伝的データに基づく和牛の効率的な生産を推進する。

- ・「高品質和牛倍増プラン推進事業委託料」 (469千円)
委託先 県家畜改良協会

- ・「高品質和牛倍増プラン推進事務費」 (349千円)
 - (当初)「**県立牧場管理費**」 (畜産課 238,525千円)
 - 内容：農家の乳用牛、肉用牛の周年預託管理並びに県有牛の優良子牛の生産と肉用牛農家への供給を行う。
 - ・「**県立牧場管理業務委託料**」 (192,525千円)
 - 内容：農家の乳用牛、肉用牛の周年預託管理等を行う県立八ヶ岳牧場の運営・管理を指定管理者に委託する。
 - 委託先 (公財) 県子牛育成協会
 - ・「**県立牧場施設管理運営費**」 (45,600千円)
 - 内容：施設の修繕や恩賜県有林借地料等
 - (当初)「**豚の改良増殖費**」 (畜産課 14,140千円)
 - 内容：豚の品種の維持と増殖、「フジザクラ(ランドレース種)」の開放型育種による改良を行う。
 - ・「**品種維持・増殖費等**」 (3,484千円)
 - 内容：雄系としての利用を図るための大ヨークシャー種、デュロック種の維持と増殖を行い、農家へ種豚及び精液を供給する。
 - ・「**フジザクラ開放型育種改良事業費**」 (10,581千円)
 - 内容：「フジザクラ」に血縁の離れた優良なランドレース種を交配し、雌系種豚としての能力を高める改良を行い、優良な種豚を農家に供給する。
 - (当初)「**新銘柄豚生産拡大促進事業費**」 (畜産課 24,222千円)
 - 内容：アイオワ州等から導入した基礎豚をもとに、本県が開発した優良種豚「フジザクラDB」の維持と農家への供給を行う。
 - (当初)「**鶏の改良増殖費**」 (畜産課 10,897千円)
 - 内容：甲州地どり等銘柄鶏の普及を推進するため、種鶏の維持と増殖を行う。
 - (当初)「**フェスタまきば開催費補助金**」 (畜産課 1,214千円)
 - 内容：県立まきば公園で開催されるフェスタまきばの運営に対し助成する。
 - 補助先 フェスタまきば実行委員会
 - 補助率 定額(県単)
 - (当初)「**畜産総合対策推進指導事業費**」 (畜産課 11,766千円) P9 再掲
 - (当初)「**肉用子牛価格安定対策事業費**」 (畜産課 881千円)
 - 内容：肉用子牛の価格が保証基準価格を下回った場合に、生産者積立金から生産者補給金を交付する。
 - (当初)「**畜産経営体質強化事業費**」 (畜産課 739千円)
 - 内容：畜産経営の改善を図るため、長期低利資金の利子補給と経営指導体制の整備を行う。
 - (当初)「**甲州牛増産のための集約的採卵プログラムの確立試験費**」 (畜産課 2,516千円)
 - 内容：甲州牛の生産拡大を図るため、採卵後の分娩間隔等を短縮し、子牛生産と受精卵生産を両立させる技術を確立する。
- ② **ブランド化・高付加価値化・低コスト化等に向けた技術の開発・普及**
- (当初)「**家畜衛生技術指導事業費**」 (畜産課 1,863千円)

内容：畜産農家の経営改善と安定を図るため、家畜衛生技術の普及、飼養衛生管理基準の遵守指導を行う。

●(当初)「飼料関係対策事業費」 (畜産課 3, 165千円)

内容：飼料自給率の向上及び飼料の安全性の確保を推進するため、自給飼料の生産技術の開発、普及を行うとともに、飼料の検査や適正な使用の指導等を行う。

●(当初)新「アニマルウェルフェアに配慮した肥育豚の飼養管理技術の開発試験費」

(畜産課 4, 421千円)

内容：アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理が生産性等に与える影響を調査するとともに、生産者に対しアニマルウェルフェアへの理解の促進を図る。

●(当初)「中小家畜試験費」 (畜産課 8, 919千円のうち一部)

内容：消費者に好まれる鶏ムネ肉を生産するため、栄養調整等により、無駄な脂肪蓄積を抑制し、肉質が柔らかく、保水性の高いムネ肉とするための飼養技術を開発する。

③ 次世代型畜産の推進

●(当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40, 000千円) P7再掲

●(当初)「アニマルウェルフェアブランド推進事業費」 (畜産課 1, 015千円)

内容：本県独自のアニマルウェルフェア認証制度の情報発信や認証の取得促進に向けた取り組みを行う。

④ 家畜等の疾病対策と防疫体制の強化

●(当初)「家畜衛生技術指導事業費」 (畜産課 1, 863千円) P16再掲

●(当初)「家畜病性鑑定事業費」 (畜産課 28, 444千円)

内容：疾病による損耗を防止するため、病理、細菌、ウイルス、生化学検査による不明疾病の解明及び早期診断を行う。また、BSEの発生予防及びまん延防止のために死亡牛検査を行う。

- ・「不明疾病の解明事業費」 (5, 176千円)
- ・「動物用医薬品危機管理対策事業費」 (156千円)
- ・「死亡牛BSE全頭検査事業費」 (13, 786千円)
- ・「家畜病性鑑定推進費等」 (9, 326千円)

●(当初)「家畜伝染病予防費」 (畜産課 30, 593千円)

内容：家畜伝染病の予防、まん延防止のため、家畜伝染病予防法に基づく検査を行う。高病原性鳥インフルエンザ発生予防のためのモニタリング検査を行う。豚熱のまん延を防止するため、飼養豚等へのワクチン接種や野生イノシシのサーベイランスを行う。

- ・「監視伝染病等検査事業費」 (6, 426千円)
- ・「高病原性鳥インフルエンザ等監視体制強化対策事業費」 (3, 375千円)
- ・「家畜衛生対策推進費」 (147千円)
- ・「豚熱防疫対策事業費」 (20, 645千円)

●(当初)「自衛防疫強化総合対策事業費」 (畜産課 1, 436千円)

内容：家畜伝染病に対する畜産農家の組織的な自主防衛と、安全で高品質な畜産物の生産を推進する。

- ・「特定疾病損耗防止推進対策事業費」 (401千円)

内容：農家が自発的に疾病の発生予防ができるような環境を整え、伝染性疾病の発生を防止することにより家畜伝染性疾病による損耗を防止する。

- ・「自衛防疫強化総合対策事業費補助金」 (1,035千円)
内容：伝染病の発生予防のため、農家自らが取り組むワクチン接種等に対し助成する。
事業主体 (公社) 県畜産協会
補助率 定額、1/3 (県単)

(6)水産

① 養殖技術の開発と種苗の供給、遊漁の推進

- (当初)「魚苗生産事業費」 (食糧花き水産課 51,270千円)
内容：県内の養殖業者及び漁業協同組合に養殖用・放流用魚苗を供給し、内水面漁業の振興を図る。
- (当初)「内水面利用啓発事業費補助金」 (食糧花き水産課 300千円)
内容：県内漁場の利用者に対し、水産生物資源の保全、適正な利用、環境保全等に関する普及啓発を図る。
補助先 県漁業協同組合連合会
補助率 1/4 (県単) (別に全国内水面漁業協同組合連合会から 2/4)
- (当初)「試験指導費」 (食糧花き水産課 13,730千円)
内容：水産に関する調査、試験、研究及び増養殖に係る漁協・養殖業者への指導を行う。また、富士の介等の機能性面からの魅力向上試験を行う。
- (当初)「コクチバス被害防止対策事業費」 (食糧花き水産課 859千円)
内容：コクチバスの本県への定着と河川等への被害拡大を防止するため、琴川ダムのコクチバスの完全駆除に取り組むとともに、密放流や持ち出し防止の強化を図る。
 - ・「コクチバス被害拡大防止対策事業費補助金」 (806千円)
内容 コクチバスの駆除事業に対し助成する。
補助先 県漁業協同組合連合会
補助率 1/2 (県単)
 - ・技術指導費 (53千円)

② ブランド魚の養殖技術の確立・普及と販路拡大

- (当初)新「富士の介販路拡大プロモーション事業費」 (販売・輸出支援課 1,962千円)
内容：県が開発した「富士の介」について広く魅力浸透を図りブランド化を進めるための取り組みを行う。
- (当初)「試験指導費」 (食糧花き水産課 13,730千円) P18再掲

③ 新規参入養殖業者等への支援

- (当初)「試験指導費」 (食糧花き水産課 13,730千円) P18再掲
- (当初)「魚苗生産事業費」 (食糧花き水産課 51,270千円) P18再掲

(7)地域特産物

① 茶の高品質化、販路の拡大

- (当初)「茶産地育成推進事業費補助金」 (食糧花き水産課 487千円)

内容：県産茶の品質向上に向けた栽培技術の改善や販路拡大を図るための活動に対し助成する。

補助先 県茶振興協議会
補助率 1/2（県単）

●(当初) **新**「未来へつなぐ茶産地イノベーション支援事業費」

(食糧花き水産課 5,372千円)

内容：峡南地域の茶の維持・発展を図るため、生産力強化や高付加価値化に向けた取り組みを行う。

- 老朽茶園更新処理促進事業費補助金 (2,500千円)

内容：生産量や品質の向上を図るため、樹勢を回復させる台切りに要する費用に対し助成する。

補助先 市町村

補助率 定額（国1/2、県1/2）

- 茶園集積支援事業費補助金 (750千円)

内容：遊休茶園の集積後に必要な土壌改良に要する費用に対し助成する。

補助先 市町村

補助率 1/2（県単）

- 高付加価値加工品開発支援事業費補助金 (1,600千円)

内容：県茶振興協議会が行う「高級プレミアムティー」の開発費用に対し助成する。

補助先 県茶振興協議会

補助率 定額（国1/2、県1/2）

- 生産技術開発・実証試験費 (522千円)

内容：茶の機能性成分を向上するため、栽培改良試験を実施する。

② **ジビエ等の活用の推進**

●(当初) 「「やまなしジビエ」ブランド力向上事業費」

(販売・輸出支援課 2,387千円)

内容：捕獲したニホンシカの有効活用を図るため、シカ肉のブランド化と消費拡大に向け、県内飲食店でのやまなしジビエフェアの実施等を行う。

●(当初) **新**「ジビエ供給力向上事業費」 (畜産課 4,538千円)

内容：捕獲したニホンシカのジビエへの利活用を推進し、供給力を強化するための取り組みを行う。

●(当初) 「やまなし未来農業応援事業費補助金」 (農村振興課 40,000千円) P7再掲

③ **新たな特産品目の導入と産地化**

●(当初) 「新品目チャレンジ栽培実証事業費」

(果樹・6次産業振興課 1,600千円) P14再掲

●(当初) 「薬用植物モデル経営体育成支援事業費補助金」

(食糧花き水産課 600千円)

内容：本県において新たな地域特産物の1つとして需要が高まっている薬用植物の産地化を図るため、栽培に取り組む農業者組織に対し、生産に係る経費の一部を助成する。

補助先 農業者組織

補助率 1/2（県単）

●(当初) 「普及活動費」 (農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲

4 販売につながるプロモーション等の展開

(1) 海外への販路拡大と販売促進

① 新たな輸出先国の開拓

- (当初)「農産物戦略的輸出拡大事業費」 (販売・輸出支援課 48,894千円)
内容：更なる輸出を促進するため、アジア諸国において積極的・効率的なプロモーション活動等を行う。

② 輸出促進に向けた新たな体制づくりと効果的なプロモーション活動の実施

- (当初)「農産物輸出拡大サポート事業費補助金」 (販売・輸出支援課 918千円)
内容：香港、台湾等の百貨店におけるフルーツフェアの開催に対する支援等により販路拡大を図る。
補助先 県果実輸出促進協議会
補助率 1/2 (県単)
- (当初)「農産物戦略的輸出拡大事業費」 (販売・輸出支援課 48,894千円) P20再掲

(2) 国内における販売促進

① 県産農産物等のブランド力の強化

- (当初)「農畜水産物ブランド強化プロモーション事業費」 (販売・輸出支援課 18,187千円)
内容：県産農畜水産物の消費拡大及び生産者の所得向上を図るため、「おいしい未来へ やまなし」の効果的なブランドプロモーションを行う。
- (当初)「県産農産物マーケティングリサーチ事業費等」 (販売・輸出支援課 2,577千円)
内容：県産農産物の販売競争力の強化を図るため、市場・流通関係者と意見交換等を行う。
- (当初)「販売促進活動等支援事業費補助金」 (販売・輸出支援課 14,000千円)
内容：県産農産物の販売強化と「やまなしブランド」の認知度向上を図るため、市場や小売店等での販売促進活動及びPR活動を実施する。
補助先 県農畜産物販売強化対策協議会
補助率 1/2 (県単)
- (当初)「4パーミル・イニシアチブ農産物ブランド強化石業費」 (販売・輸出支援課 5,310千円)
内容：地球温暖化対策に貢献する4パーミル・イニシアチブ農産物の認知度向上に向けた取り組みを行う。
- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」 (農村振興課 8,205千円)
内容：中山間地農業の活性化を図るため、将来ビジョンの実現に向けた取り組み対し助成する。
補助先 市町村
内容 研修会の開催等
補助率 10/10

- (当初)「**「やまなしジビエ」ブランド力向上事業費**」
(販売・輸出支援課 2,387千円) P19掲載
- (当初)新「**富士の介販路拡大プロモーション事業費**」
(販売・輸出支援課 1,962千円) P18再掲
- (当初)臨「**県産すもも魅力発信事業費**」 (販売・輸出支援課 10,341千円)
内容：米国産との差別化を図り、高品質な県産すもものブランド力を向上させる取り組みを行う。

② 県産農産物の更なる販売促進

- (当初)「**販売促進活動等支援事業費補助金**」
(販売・輸出支援課 14,000千円) P20再掲
- (当初)「**農産物流通販売強化対策事業費補助金**」 (販売・輸出支援課 4,931千円)
内容：市場・流通、輸出に関する情報収集等を行う農産物インフォメーションセンター・輸出促進センターの運営に対し助成する。
補助先 県農畜産物販売強化対策協議会
補助率 1/2 (県単)
- (当初)「**やまなし食材消費拡大推進事業費**」 (販売・輸出支援課 11,340千円)
内容：県産食材のファンづくりを推進するため、ECサイトへの出展を進めるとともにSNSによる情報発信等を行う。
- (当初)「**バイ・ふじのくに物産市開催費**」 (販売・輸出支援課 13,970千円)
内容：県産農畜水産物の消費拡大及び販路拡大を図るため、静岡県と相互に物産市を開催する。

(3) 安全で安心な農産物の生産・供給

① やまなしGAP等やHACCP認証取得の促進

- (当初)「**GAP 推進事業費**」 (農業技術課 1,879千円) P10再掲
- (当初)「**家畜衛生技術指導事業費**」 (畜産課 1,863千円) P16再掲
- (当初)「**アニマルウェルフェアブランド推進事業費**」
(畜産課 1,015千円) P17再掲
- (当初)「**食肉等流通合理化推進事業費**」 (畜産課 2,197千円)
内容：畜産業振興事業の円滑な業務推進を図る。

② 農薬等の適正使用の推進

- (当初)「**病害虫発生予察事業費**」 (農業技術課 1,203千円)
内容：病害虫による被害を最小限に抑えるため、病害虫の発生時期、量、被害程度等を調査し発生予察情報を提供する。
- (当初)「**防疫推進事業費**」 (農業技術課 2,591千円)
内容：安全・安心な農産物を供給するため、農薬の安全かつ適正な使用・販売を推進するとともに植物防疫事業の総合的な推進と農薬の適正使用の啓発を行う。

- (当初)「**農薬飛散防止対策等事業費**」 (農業技術課 7, 868千円)
内容：県産農産物の安全・安心を確保するため、農薬等のポジティブリスト制度に対応した飛散防止指導等を行う。

- (当初)「**飼料関係対策事業費**」 (畜産課 3, 165千円) P17再掲

- (当初)「**家畜衛生技術指導事業費**」 (畜産課 1, 863千円) P16再掲

③ 農産加工品の製造工程管理の徹底

- (当初)「**地域食品産業活性化総合推進事業費**」 (果樹・6次産業振興課 138千円)
内容：県産農畜産物を主な原材料として優れた加工食品を認証することにより、食品産業の振興を図る。

- (当初)「**家畜衛生技術指導事業費**」 (畜産課 1, 863千円) P16再掲

5 地域の農産物の利用促進

(1) 地域資源を活用した6次産業化の促進

① 6次産業化支援体制の強化

●(当初)「6次産業化ネットワーク活動支援事業費」

(果樹・6次産業振興課 10,684千円)

内容：農業者の所得向上と農村地域の活性化などを図るため、支援体制を整備するとともに、多様な事業者によるネットワークの構築に向けた取り組みを推進する。

●(当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」

(農村振興課 8,205千円) P20再掲

② 県産農産物を活用した新たな加工品開発の促進と販売支援

●(当初)「やまなし6次産業強化促進事業費」(果樹・6次産業振興課 4,351千円)

内容：6次産業化による県産農産物の高付加価値化を図るため、加工品の開発や販路拡大の取り組みを促進する。

●(当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」

(農村振興課 8,205千円) P20再掲

(2) 地産地消・地産訪消の促進に向けた販売集客拠点の整備等への支援

① 県産農産物の消費拡大と新たなニーズに対応した品目の生産支援

●(当初)「新品目チャレンジ栽培実証事業費」

(果樹・6次産業振興課 1,600千円) P14再掲

●(当初)「普及活動費」(農業技術課 121,698千円のうちの一部) P3再掲

●(当初)「販売促進活動等支援事業費補助金」

(販売・輸出支援課 14,000千円) P20再掲

●(当初)「フェスタまきば開催費補助金」(畜産課 1,214千円) P16再掲

●(当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」

(農村振興課 8,205千円) P20再掲

② 農産物直売所等の施設整備への支援

●(当初)「やまなし未来農業応援事業費補助金」(農村振興課 40,000千円) P7再掲

●(当初)「6次産業化ネットワーク活動支援事業費」

(果樹・6次産業振興課 10,684千円) P23再掲

●(当初)「山村振興等農林漁業対策事業費」(耕地課 5,584千円)

内容：山村地域等の活性化と定住の促進を図るために必要な事業を実施する。

6 地域資源を活用した農山村の活性化

(1) 他分野と連携した農山村の活性化

① 地域資源を活用した都市農村交流の推進

- (当初)新「やまなしリフレッシュ農泊推進事業費」 (農村振興課 6, 592千円)
内容：農村地域の活性化と所得向上を図るため、農泊事業者が行う企業向けリフレッシュプログラム開発を支援する。
- (当初)「山村振興等農林漁業対策事業費」 (耕地課 5, 584千円) P23再掲
- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」
(農村振興課 8, 205千円) P20再掲

② 農福連携の推進

- (当初)「次世代型農福連携パワーアップ事業費」
(農村振興課(障害福祉課) 20, 550千円) P5再掲

(2) 農地及び農村景観の保全

① 農業・農村の多面的機能の保全

- (当初)「農地維持・資源向上活動支援事業費補助金」 (農村振興課 318, 149千円)
内容：農業・農村の多面的機能の発揮に向け、その機能を支える活動や農地、水路等の地域資源の質的向上を図る地域ぐるみの共同活動を支援する。
補助先 市町村、推進組織
補助率 3/4 (国 2/4 県 1/4) 10/10
- (当初)「中山間地域等直接支払事業費」 (農村振興課 408, 297千円)
内容：中山間地域における耕作放棄地の発生を防止し、農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、直接支払いを実施する。
 - ・「中山間地域等直接支払交付金」(405, 000千円)
内容：協定に基づき継続的に農業者等が行う農業生産活動等に対し交付する。
交付先 市町村
交付率 3/4 (国 2/4 県 1/4) 2/3 (国 1/3 県 1/3)
 - ・「中山間地域等直接支払推進交付金」(2, 687千円)
内容：集落や農家に対する説明会の開催、書類確認事務、交付金支払事務等に対し交付する。
交付先 市町村
交付率 1/2
- (当初)「中山間ふるさと・水と土保全対策事業費」
(耕地課 12, 801千円) P3再掲
- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」
(農村振興課 8, 205千円) P20再掲

② 環境との調和に配慮した基盤整備等の推進

- (当初・2補)「中山間地域総合整備事業費」
(耕地課 当初：2, 014, 847千円 2補：511, 891千円)
内容：中山間地域の農業・農村の活性化を図るため、生産基盤、生活環境基盤等を総合的に整備する。

対 象 11地区
負担区分 国（55%）、県（30%）

- (当初)「地域用水環境整備事業費」 （耕地課 65,700千円）
内容：農村地域の恵まれた景観や生態系を保全するため、自然環境に配慮した水路、ため池などを整備する。

対 象 1地区
負担区分 国（50%） 県（25%）

- (当初・2補)「調査設計事業費」
（耕地課 当初：103,000千円 2補：33,500千円）
内容：団体営土地改良事業の調査設計を行うために助成する。

対 象 10地区

- (当初)「基盤整備促進事業費」 （耕地課 143,726千円）
内容：市町村等が行う暗渠排水等の農地の整備、老朽施設の更新等の農業水利施設等の整備など、地域の実態に即したきめ細かな農業生産基盤の整備に助成する。

事業主体 市町村、土地改良区等

対 象 13地区

補助率 国（50、55%） 県（0.5、10%）

- (当初・2補)「農村災害対策整備事業費」
（耕地課 当初：185,224千円 2補：178,500千円）
内容：災害に対して脆弱な地域で発生する災害から農村住民の生活を守るため、農業用施設や農村防災施設を整備する。

対 象 4地区

負担区分 国（55%） 県（29%）

③ 世界農業遺産の認定と保全・活用

- (当初)「世界農業遺産保全・活用推進事業費」 （農政総務課 2,256千円）
内容：世界に類を見ない峡東地域における果樹農業システムを保全し、次世代へ継承するための取り組みを推進する。

実施主体 峡東地域世界農業遺産推進協議会

(3) 鳥獣被害対策の推進

① 野生鳥獣被害対策の推進

- (当初)「鳥獣害防止対策総合実践事業費」 （農業技術課 46,700千円）
内容：野生鳥獣による農作物被害の防止対策を推進する。
 - ・「鳥獣被害防止総合対策事業費補助金」 （44,701千円）
内容：市町村が作成する「被害防止計画」に基づく農作物被害の防止対策の取り組みに係る経費に対し助成する。
事業主体 市町村 協議会等
内 容 捕獲機材の導入、追い払い活動等
補助率 1/2、定額
 - ・「鳥獣害対策指導体制整備事業費」 （1,572千円）
内容：鳥獣害防止対策集落リーダーの育成と鳥獣害防止技術指導員の資質向上研修を実施するとともに、鳥獣被害対策専門員を委嘱し集落単位の取り組みを推進する。

- (当初・2補)「畑地帯総合整備事業費」
（耕地課 当初：969,960千円 2補：1,525,766千円）
内容：樹園地等の畑地帯において、農業用排水施設・農道、区画整理等の農業生産基盤を総

合的に整備する。

対 象 19地区

負担区分 国(50、55%) 県(25%)

●(当初・2補)「中山間地域総合整備事業費」

(耕地課 当初：2,014,847千円 2補：511,891千円) P24再掲

●(当初・2補)「農地環境整備事業費」

(耕地課 当初：262,800千円 2補：7,000千円)

内容：耕作放棄等により再生が困難となった農地と、更なる生産性の向上を図る農地の区域を区分し、優良農地を保全するための基盤整備を総合的に行う。

対 象 3地区

負担区分 国(55%) 県(30%)

●(当初・2補)「経営体育成基盤整備事業費」

(耕地課 当初：1,150,800千円 2補：241,585千円)

内容：多様な担い手への農地の集積を促進するため、区画整理・農業用排水路整備・農道整備など総合的な整備を実施する。

対 象 9地区

負担区分 国(50、55%、62.5%) 県(27.5%)

●(当初)新「活力ある農業・農村施設整備事業費補助金」 (耕地課 115,000千円)

内容：市町村等が行う地域の特性やニーズに応じたきめ細かな農業生産基盤と農村環境基盤の整備を支援する。

事業主体 市町村、農業団体等

補助率 1/2(県単)

●(当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」

(農村振興課 8,205千円) P20再掲

●(当初)「農地維持・資源向上活動支援事業費補助金」

(農村振興課 318,149千円) P24再掲

●(当初)「中山間地域等直接支払事業費」

(農村振興課 408,297千円) P24再掲

② 水産資源の被害防止と保全対策の推進

●(当初)「カワウ食害防止総合対策事業費」 (食糧花き水産課 4,528千円)

内容：カワウによる放流稚魚等の食害防止等を図るため、飛来状況の調査、食害防止措置や駆除を行う。

・「カワウ食害防止総合対策事業費補助金」 (3,747千円)

内 容 案山子の放置、漁場巡回、駆除等に要する経費に対し助成する。

補助先 県漁業協同組合連合会

補助率 1/2(県単)

・「カワウ飛来状況調査費等」 (781千円)

7 力強い農業を支える基盤整備

(1) 成長産業化に向けた基盤整備

① 中心経営体等への農地集約や果樹産地等の基盤整備

- (当初)「機構借受農地整備事業費補助金」 (担い手・農地対策課 60,000千円)

内容：農地中間管理機構が借り受けた農地の整備に対し助成する。

補助先 市町村、県農地中間管理機構
補助率 定額(県単)

- (当初)「県営事業計画調査費」 (耕地課 50,400千円)

内容：県営土地改良事業実施のための事業計画作成に必要な調査等を行う。

- (当初)「土地改良事業計画基礎調査費」 (耕地課 750千円)

内容：土地改良事業計画策定のための農業水利基本調査等を実施する。

- (当初・2補)「かんがい排水事業費」

(耕地課 当初：361,350千円 2補：93,555千円)

内容：基幹的農業水利施設等を対象に、施設の機能を長年に渡って保全する長寿命化対策として、補修・補強等を実施する。

対象 3地区
負担区分 国(50%) 県(25%)

- (当初・2補)「畑地帯総合整備事業費」

(耕地課 当初：969,960千円 2補：1,525,766千円) P25再掲

- (当初・2補)「中山間地域総合整備事業費」

(耕地課 当初：2,014,847千円 2補：511,891千円) P24再掲

- (当初)「地域用水環境整備事業費」 (耕地課 65,700千円) P25再掲

- (当初・2補)「農地環境整備事業費」

(耕地課 当初：262,800千円 2補：7,000千円) P26再掲

- (当初・2補)「耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費」

(耕地課 当初：164,400千円 2補：170,485千円)

内容：耕作放棄地の解消・発生防止を図るため、区画整理・農業用排水路整備・農道整備等の農業生産基盤を整備する。

対象 2地区
負担区分 国(55%) 県(27.5%)

- (当初・2補)「経営体育成基盤整備事業費」

(耕地課 当初：1,150,800千円 2補：241,585千円) P26再掲

- (当初・2補)「調査設計事業費」

(耕地課 当初：103,000千円 2補：33,500千円) P25再掲

- (当初)「基盤整備促進事業費」 (耕地課 143,726千円) P25再掲

- (当初)「県単土地改良事業費」

(耕地課 当初：70,000千円)

内容：県営土地改良施設の応急的な改修や補修等を行う。

- (当初) **新**「活力ある農業・農村施設整備事業費補助金」
(耕地課 115,000千円) P26再掲
 - (当初)「広域営農団地農道整備事業費」 (耕地課 87,600千円)
内容：農産物の生産、出荷、流通の合理化を図るとともに農村地域の環境の改善に資するため、基幹的な農道を整備する。
事業主体 県
実施地区数 1地区
負担区分 国(53.5%) 県(36.5%)
 - (当初)「農村地域活性化農道整備事業費」 (耕地課 262,800千円)
内容：農村地域の振興等のため、農村地域において、緊急に対応しなければならない課題に
応えて早急に行う必要がある農道整備を推進する。
事業主体 県
実施地区数 4地区
負担区分 県(70%等)
 - (当初)「果樹団地化促進支援事業費補助金」 (耕地課 10,000千円)
内容：果樹産地における生産性の向上を図るため、ほ場整備時の果樹の伐採や育成等に対し
て助成する。
補助先 市町村、土地改良区等
補助率 定額(県単)
 - (当初)「農地集積基盤整備事業費補助金」 (耕地課 50,000千円)
内容：農用地の利用集積を促進するため、集積を行う基盤整備事業の農家負担に対して助成
する。
事業主体 市町村、農地中間管理機構等
補助率 定額(県単)
- ② 企業の農業参入に向けた基盤整備
- (当初)「企業的農業経営推進支援モデル事業費補助金」
(担い手・農地対策課 40,000千円)
内容：企業などの農業参入を促進するため、ほ場や農道などの生産基盤の条件を整備するモ
デル的な取り組みに対して助成する。
事業主体 市町村、土地改良区等
補助率 1/2(県単)
 - (当初)「県営事業計画調査費」 (耕地課 50,400千円) P27再掲
 - (当初)「土地改良事業計画基礎調査費」 (耕地課 750千円) P27再掲
 - (当初・2補)「畑地帯総合整備事業費」
(耕地課 当初：969,960千円 2補：1,525,766千円) P25再掲
 - (当初・2補)「中山間地域総合整備事業費」
(耕地課 当初：2,014,847千円 2補：511,891千円) P24再掲
 - (当初・2補)「農地環境整備事業費」
(耕地課 当初：262,800千円 2補：7,000千円) P26再掲

- (当初・2補)「耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費」
(耕地課 当初：164,400千円 2補：170,485千円) P27再掲
- (当初・2補)「経営体育成基盤整備事業費」
(耕地課 当初：1,150,800千円 2補：241,585千円) P26再掲
- (当初・2補)「調査設計事業費」
(耕地課 当初：103,000千円 2補：33,500千円) P25再掲
- (当初)「基盤整備促進事業費」 (耕地課 143,726千円) P25再掲
- (当初・2補)「県単土地改良事業費」 (耕地課 当初：70,000千円) P27再掲
- (当初)新「活力ある農業・農村施設整備事業費補助金」
(耕地課 115,000千円) P26再掲
- (当初)「果樹団地化促進支援事業費補助金」 (耕地課 10,000千円) P28再掲
- (当初)「農地集積基盤整備事業費補助金」 (耕地課 50,000千円) P28再掲
- (当初)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」
(果樹・6次産業振興課 150,000千円) P12再掲

(2) 災害に強い基盤整備

① 防災・減災に向けた農業用水利施設等の整備

- (当初)「県営事業計画調査費」 (耕地課 50,400千円) P27再掲
- (当初)「土地改良事業計画基礎調査費」 (耕地課 750千円) P27再掲
- (当初)「防災重点農業用ため池緊急整備事業費」 (耕地課 633,487千円)
内容：防災重点農業用ため池の受益地における大規模地震及び集中豪雨の被害を未然に防止するため、必要な防災対策を実施する。
事業主体 県
実施地区数 16地区
負担区分 国(55%) 県(34%)
- (当初・2補)「農村災害対策整備事業費」
(耕地課 当初：185,224千円 2補：178,500千円) P25再掲
- (当初・2補)「農業用河川工作物等応急対策事業費」
(耕地課 当初：153,440千円 2補：180,600千円)
内容：洪水等による災害発生を未然に防止するため、農業用河川工作物の整備、補強等を実施する。
事業主体 県
実施地区数 2地区
負担区分 国(55%) 県(37%)

●(当初、2補)「土地改良施設耐震対策事業費」

(耕地課 当初：120,560千円 2補：100,800千円)

内容：大規模地震によるため池や農道橋への被害を未然に防止するため、必要な耐震対策を実施する。

実施地区数 2地区

負担区分 国(55%) 県(34、37%)

●(当初・2補)「農業集落排水事業費」(耕地課 1,575千円)

内容：農業用水の水質の汚濁を防止し、農村地域の健全な水循環に資するための施設整備及び適正な維持管理の促進を図る。

●(当初・2補)「たん水防除事業費」

(耕地課 当初：260,848千円 2補：17,850千円)

内容：農地、農業用施設等の洪水被害を防止するため、排水機、排水樋門、排水路等を整備する。

事業主体 県

実施地区数 3地区

補助率 国(55%) 県(32%)

●(当初・2補)「用排水施設等整備事業費」

(耕地課 当初：65,760千円 2補：88,200千円)

内容：農用地及び農業用施設等の災害を防止するため、用排水施設などを整備する。

実施地区数 2地区

② 農業用施設の耐震化・長寿命化の推進

●(当初)「土地改良施設維持管理費」(耕地課 121,574千円)

- ・「土地改良施設維持管理適正化事業費補助金」(60,000千円)

内容：土地改良施設の機能維持や耐用年数の延長を図るための資金造成に対する助成

補助先 県土地改良事業団体連合会

補助率 30%

- ・「国営造成施設管理体制整備促進事業費補助金」(61,574千円)

内容：管理体制整備計画の更新等

補助先 笛吹川沿岸土地改良区

釜無川右岸土地改良区連合

補助率 10/10(国5/10、県2.5/10、市町村2.5/10)

●(当初・2補)「かんがい排水事業費」

(耕地課 当初：361,350千円 2補：93,555千円) P27再掲

●(当初・2補)「調査設計事業費」

(耕地課 当初：103,000千円 2補：33,500千円) P25再掲

●(当初)「基盤整備促進事業費」(耕地課 143,726千円) P25再掲

●(当初)「国直轄耕地事業費負担金」(耕地課 19,767千円)

内容：国営施設機能保全事業に対する負担金

負担期間 平成24年度～令和4年度

負担割合 13%

●(当初・2補)「農業用河川工作物等応急対策事業費」

(耕地課 当初：153,440千円 2補：180,600千円) P29再掲

- (当初、2補)「土地改良施設耐震対策事業費」
(耕地課 当初：120,560千円 2補：100,800千円) P30再掲
- (当初・2補)「たん水防除事業費」
(耕地課 当初：260,848千円 2補：17,850千円) P30再掲
- (当初・2補)「用排水施設等整備事業費」
(耕地課 当初：65,760千円 2補：88,200千円) P30再掲

(3)効果的な荒廃農地対策の推進

① 荒廃農地の発生防止対策の推進

- (当初)「農業委員会指導費」 (担い手・農地対策課 153,945千円) P4再掲
- (当初)「農地維持・資源向上活動支援事業費補助金」
(農村振興課 318,149千円) P24再掲
- (当初)「中山間地域等直接支払事業費」 (農村振興課 408,297千円) P24再掲

② 荒廃農地の再生の推進

- (当初)「企業的農業展開支援対策事業費」 (担い手・農地対策課 5,391千円) P2再掲
- (当初)「耕作放棄地等再生整備支援事業費補助金」
(担い手・農地対策課 25,000千円)
内容：優良農地を確保するとともに、農村景観の保全を図るため、耕作放棄地の解消に向けたほ場整備や農道整備等の取り組みに対し助成する。
補助先 市町村 農協 土地改良区等
補助率 1/2(県単)
- (当初)「機構借受農地整備事業費補助金」
(担い手・農地対策課 60,000千円) P27再掲

③ 再生農地の活用の促進

- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」
(農村振興課 8,205千円) P20再掲
- (当初)「耕作放棄地等再生整備支援事業費補助金」
(担い手・農地対策課 25,000千円) P31再掲
- (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」 (畜産課 11,766千円) P9再掲

補助対象別主要事業一覧 No. 1 (生産関係施設)

事業名	育苗施設	穀類乾燥調整貯蔵施設	堆きゆう肥施設・散布機	動力溝掘機	種苗増殖施設	消毒用機械・施設	コンバイン	灌水用施設	温室等生産施設	菌類生産施設	運搬機械	農機具格納庫	防風・防霜施設	その他栽培用機械	種苗の購入	ぶどう棚・醸造施設	水産関係施設	機械・施設リース
農業用機械・施設整備事業費補助金 (担い手・農地対策課)	○	○	○			○	○		○			△	○	○		○		
果樹王国やまなし就農支援事業費補助金 (担い手・農地対策課)																		○
やまなしスマート農業実装事業費補助金 (農業技術課)	□		□	□		□	□	□	□		□		□	□				
醸造用甲州ぶどう産地育成強化事業費 (果樹・6次産業振興課)															○	◇		
やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△		△	△	△	△		△
活力ある水田農業支援事業費補助金 (食糧花き水産課)	○	△	○	○	○	○	△	○	○		○			○				
やまなし未来農業応援事業費補助金 (農村振興課)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆				

注) △は補助条件に特に留意する。◇はぶどう棚に限る。□は先進技術の実証に必要な設備等に限る。▽は補強に限る。
☆はCO2削減、気候変動への対応、スマート農業の導入に向けた取り組みに限る。

補助対象別主要事業一覧 No. 2 (生産施設：畜産関係)

事業名	飼料調整施設	飼料貯蔵施設	飼料収穫調整機械	飼料運搬車	放牧施設	糞尿処理施設・機械	農機具格納庫	堆きゆう肥施設
畜産環境総合対策事業費(畜産課)						○		○
飼料関係対策事業費(畜産課)	○	○	○	○	○	○	○	○

補助対象別主要事業一覧 No. 3 (流通・加工・販売施設)

事業名	畑作物等加工施設	茶等特用作物加工施設	果樹等加工施設	畜産物加工施設	農畜産物直売施設	集出荷施設	貯蔵施設	選別用機械	特産品開発
やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)	○	○	○			○	○	○	
活力ある水田農業支援事業費(食糧花き水産課)						○	○	○	
やまなし未来農業応援事業費(農村振興課)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

注) ☆は CO2 削減、気候変動への対応、スマート農業の導入に向けた取り組みに限る。

補助対象別主要事業一覧 No. 4 (土地基盤整備)

事業名	用排水路整備	整地・客土	水田のほ場整備	農道の改良・舗装	かんがい施設	土壌・土層改良	畑・樹園地のほ場整備	暗渠排水	草地・飼料畑等の造成	伐採・抜根・改植	農地の防災対策・保全	防風施設	農地の流動化・集団化	ため池等の整備	排水機場の設置	地滑りの防止	鳥獣害の防止
企業の農業経営推進支援モデル事業費 (担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				
耕作放棄地等再生整備支援事業費 (担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				
機構借受農地整備事業費(担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○					
飼料関係対策事業費(畜産課)									○								
かんがい排水事業費(耕地課)	○				○												
畑地帯総合整備事業費(耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
広域・基幹などの農道整備事業費(耕地課)				○													
中山間地域総合整備事業費(耕地課)	○	○	○	○			○	○			○	○		○			○
農地環境整備事業費(耕地課)	○		○	○			○	○			○						○
耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費(耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
経営体育成基盤整備事業費(耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
基盤整備促進事業費(耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○
農地集積基盤整備事業費(耕地課)													○				
活力ある農業・農村施設整備事業費補助金(耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○					○
防災重点農業用ため池緊急整備事業費(耕地課)	○										○			○			
農村災害対策整備事業費(耕地課)	○										○			○		○	
地すべり対策事業費(耕地課)																○	
農業用河川工作物等応急対策事業費(耕地課)											○						
土地改良施設耐震対策事業費(耕地課)														○			
団体営ため池等整備事業費(耕地課)														○			
たん水防除事業費(耕地課)															○		

補助対象別主要事業一覧 No. 5 (農村の整備)

事業名	営農飲雑用水施設	体験農園	農村集落親水・景観保全	集落防災施設	研修・交流等施設	高齢者活動支援施設	施設用地整備	ため池等水辺環境の整備	農村集落道整備	農村集落用排水施設	生態系の保全	簡易給水・排水施設
畑地帯総合整備事業費（耕地課）	○		○	○				○	○	○	○	
中山間地域総合整備事業費（耕地課）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
地域用水環境整備事業費（耕地課）			○	○				○			○	
経営体育成基盤整備事業費（耕地課）	○		○	○				○	○	○	○	
防災重点農業用ため池緊急整備事業費（耕地課）				○				○				

補助対象別主要事業一覧 No. 6-1 (ソフト事業・セミハード事業)

事業名	推進会議の実施	研修会等の実施	構想・指針等の策定	各種調査の実施	実証ほ場等の設置	種苗の購入	農産物のPR	新技術等の導入	農地の利用調整	農地利用集積促進	果樹伐採・棚の再設置他	普及啓発活動	集出荷関係機器の整備	体験農園機械・簡易施設整備
中山間地農業活性化推進事業費補助金（農村振興課）		○	○											
やまなし未来農業応援事業費補助金（農村振興課）								☆					☆	
果樹団地化促進支援事業費補助金（耕地課）										○	○			

注) ☆は CO2 削減、気候変動への対応、スマート農業の導入に向けた取り組みに限る。

補助対象別主要事業一覧 No. 6-2 (ソフト事業・セミハード事業)

事業名	推進会議の実施	研修会の実施	構想・指針等の策定	各種調査の実施	生産組織等の活動助成	農産物等のPR	景観の保全・形成	集落共同活動の支援	鳥獣害の防止	国際水準GAPの認証取得	特産品開発
GAP推進事業費（農業技術課）										○	
安全・安心ブランド農産物推進事業費補助金（農業技術課）		○		○							
鳥獣被害防止総合対策事業費補助金（農業技術課）	○	○							○		
農産物輸出拡大サポート事業費補助金 （販売・輸出支援課）						○					
やまなし6次産業強化促進事業費（果樹・6次産業振興課）						○					○
フェスタまきば開催費補助金（畜産課）						○					
販売促進活動等支援事業費補助金（販売・輸出支援課）						○					
茶産地育成推進事業費（食糧花き水産課）		○			○	○					
やまなしの花総合振興対策費 （食糧花き水産課、販売・輸出支援課）	○				○	○					
中山間地域等直接支払事業費（農村振興課）	○	○		○		○	○	○	○		
農地維持・資源向上活動支援事業費補助金（農村振興課）	○	○		○			○	○	○		
中山間ふるさと・水と土保全対策事業費（耕地課）	○	○	○	○			○	○			
農畜水産物ブランド強化プロモーション事業費（販売・輸出支援課）						○					